

平成30年度

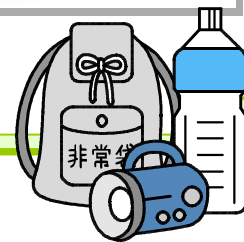


学校だより 第5号

高岡市立木津小学校
平成30年 9月20日
発行責任者 木越明子



チャレンジ&ありがとう



有り難い

校長 木越 明子

平成最後の夏は、猛暑に始まり、豪雨、台風、地震と次々に大きな自然災害に見舞われた。全国各地から寄せられる甚大な被害の情報に、猛威を振るう自然に対して、人間がいかに無力であるかを痛感させられた。

台風21号の接近に備えて、4日は給食後全校児童で一斉下校を行い、6年生が参加する予定だった連合運動会が6日に延期となり、3年生が校外学習で摘果した国吉りんごが突風のために落果するなど、本校でも少なからず影響があった。また、台風通過後にどんな風が吹くのか予想がつかなかったため、『停電になって木津っ子メールを送信することができなかったら・・・』という不安も頭をかすめた。これまでは停電に備えた対応策まで考えたことはなかったが、台風通過後の近畿地方のニュースには、停電になるかもしれないと思わせる危機感があった。学校の停電を心配していたら、4日の夜に我が家が停電になった。家を揺らすような突風の後、電気が消えた。すぐに復旧するだろうとたかをくくっていたが、10分たっても20分たっても電気がつかない。ネットで確認すると、近隣の40戸あまりが停電になっていて原因を調査中とのこと。懐中電灯の光を頼りにラジオを聞きながら、被災地の大変さに思いを馳せていた。停電から3時間程たち、午後10時前に電気がついた。ほっとするとともに、当たり前だと思っていたことが、決して当たり前ではなく、多くの力に支えられた「有り難い」ことなのだ改めて実感した。翌朝、登校してくる子供たちと「おはようございます」と挨拶を交わしながら、その有り難さに感謝する自分がいた。

度重なる自然災害が今年に限ったことではないだろうとみんなが思い始めている。日頃から何をしておくべきなのか、災害時にどう対応すべきなのかを考えて行動に移すことが求められている。子供たちとともに、被災地の一日も早い復興を祈りながら、一人一人がなすべき自助努力に取り組もうとする意識を高めていきたい。

不審者対応訓練の実施

高岡警察署員の協力のもと、学校に侵入した不審者に対してどのように対応するか、訓練を行いました。不審者役の署員がどんな動きをするかは、場の状況によって変わるとのことで、教職員にも臨機応変な対応が求められました。

不審者が校内に侵入する危険があると認識した時点で校内放送を行い、教室の出入り口を封鎖し、バリケードをつくって教室内で身を潜める一次避難をしました。

110番通報後、教職員がさすまた等で不審者に対応し、警察の到着を待ちました。不審者の身柄が確保された後、全校児童が体育館に集まる二次避難をしました。1学期に富山市の小学校で起こった事件のこともあり、子供たちは真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

